

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいる東浦		
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な広さがあり運動課題が十分に出来る事。子供たちの逃げ場を確保できること。	広い為児童が分散される時は必ずスタッフがつくこと、常に目を離さない事	鍵やセンサーの設置
2	曜日で課題の目標を決めており対象児童にあった課題を取り入れ、「やる時はやる」「遊ぶ時は遊ぶ」とメリハリをつけて行っている	活動に参加しにくい児童にどうしたら参加できるかを評価し、参加できるように工夫をしている	より自己研鑽をし、個々にあった対応を身に着ける
3	保護者さん、支援員さんの意見を聞き柔軟に課題に取り入れている	相談や、指摘のあった点をどこが問題でどうしたら解決できるかを話し合っ課題に取り入れるようにしている	職員の解決能力の幅を広げられるように自己研鑽や研修を取り入れる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広すぎることで自由に動き回れる半面気が散りやすい	適切な大きさの部屋が少なく、集中のしにくさ、逃げ場がありすぎる事、まとまりにくい。	パーティションや壁を作り集中できるように工夫が必要
2	児童の状態に対する職員の少なさ	人員を増やすこと、職員の意識の向上	人数を増やすとともに他児を意識して児童同士で遊べるように、働きかけ、療育していく。職員一人一人の意識づけの伝達が必要
3			